

**教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価に関する報告書**

対象年度 平成22年度

平成24年2月

和歌山市教育委員会

— 目 次 —

I	はじめに	1
1	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の実施について	1
2	点検及び評価の実施方法について	1
II	平成22年度教育委員会の活動状況	4
1	平成22年度教育行政方針	4
2	教育委員	5
3	教育委員会会議の開催状況	5
4	教育委員会会議議決案件	6
5	教育委員会会議以外の主な活動状況	8
6	教育委員会の活動状況の評価	9
III	点検及び評価	10
1	学校教育の充実	10
①	学校の教育力の充実	
②	幼児教育の充実	
③	小・中学校教育の充実	
④	特別支援教育の充実	
⑤	健康教育の充実	
⑥	高校教育・高等教育の充実	
2	青少年の健全育成	14
①	青少年の健全育成	
3	生涯学習の推進	14
①	生涯学習の推進	
4	文化・スポーツの振興	15
①	文化遺産の保護・継承	
②	芸術・文化の振興	
③	生涯スポーツの振興	
5	教育委員会評価	18
6	行政評価（参考）	20
IV	その他	23
1	教育委員会の組織	23
2	教育費決算額	24
①	平成22年度教育費決算額内訳	
②	教育費決算額の推移	

I はじめに

1 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の実施について

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、同法第27条に「教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価等」が規定されました。

この規定により、平成20年4月から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが定められました。

2 点検及び評価の実施方法について

平成23年度に実施する点検及び評価は、平成22年度事業を対象とし、「子どもが輝き、文化が薫る教育のまち」の実現に向け取り組んでいる4項目の政策及び11項目の施策（別記①）を推進する事業を整理し、決算及び施策の成果等をまとめるものとします。また、教育委員会評価会議において、重点事業として取り組んだ1ないし2事業を対象とし、点検及び評価を実施し個々の課題や今後の方策等についてまとめ示しています。

国の考えでは「既に他の方法で点検及び評価を行っている場合は、その手法を活用することも可能である」とされていますので、公表等に際しては、市民に対する行政の説明責任を果たし、よりよい行政サービスを行うことを目的に実施されている和歌山市行政評価システム（別記②）を活用するものとします。

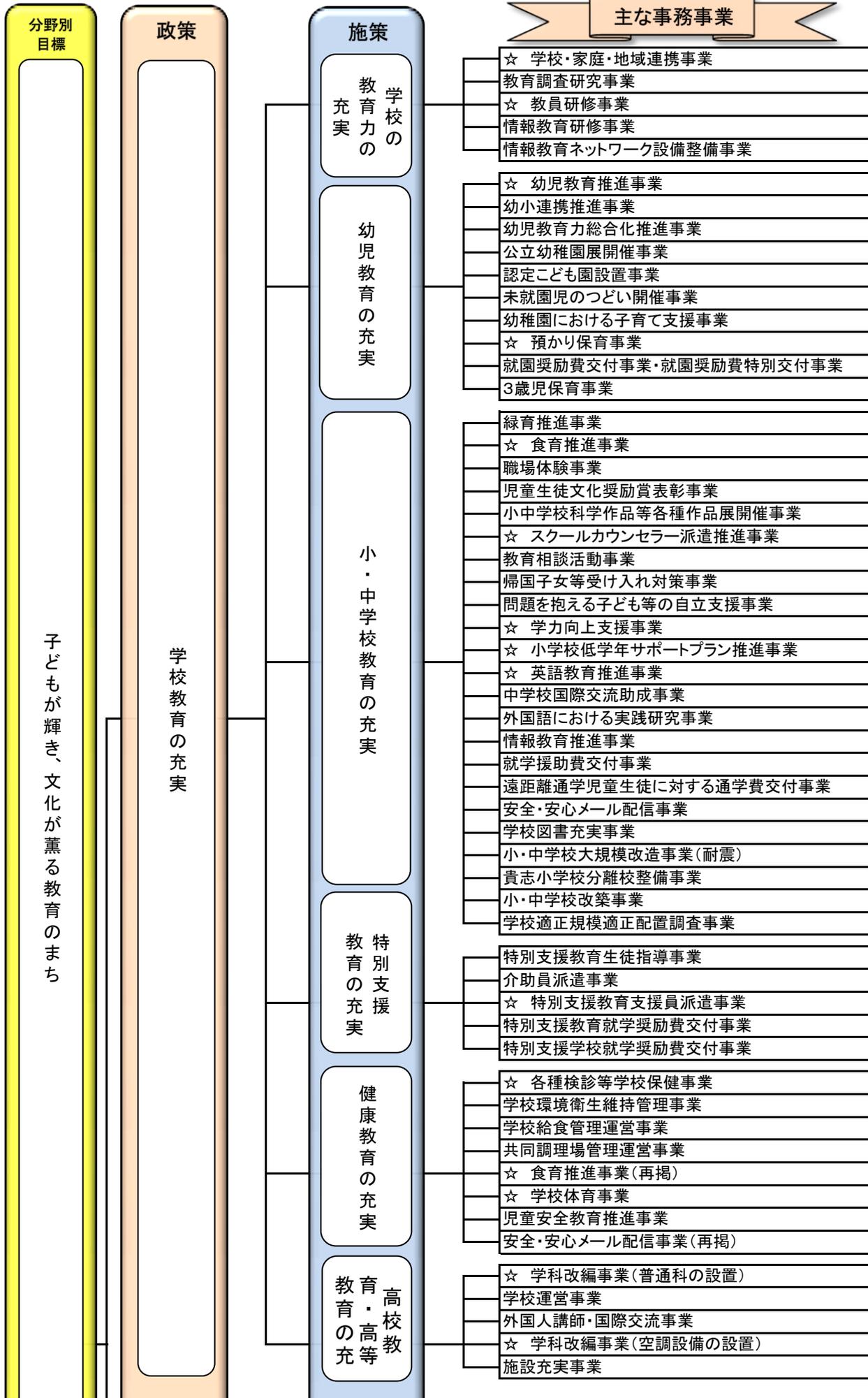
別記①

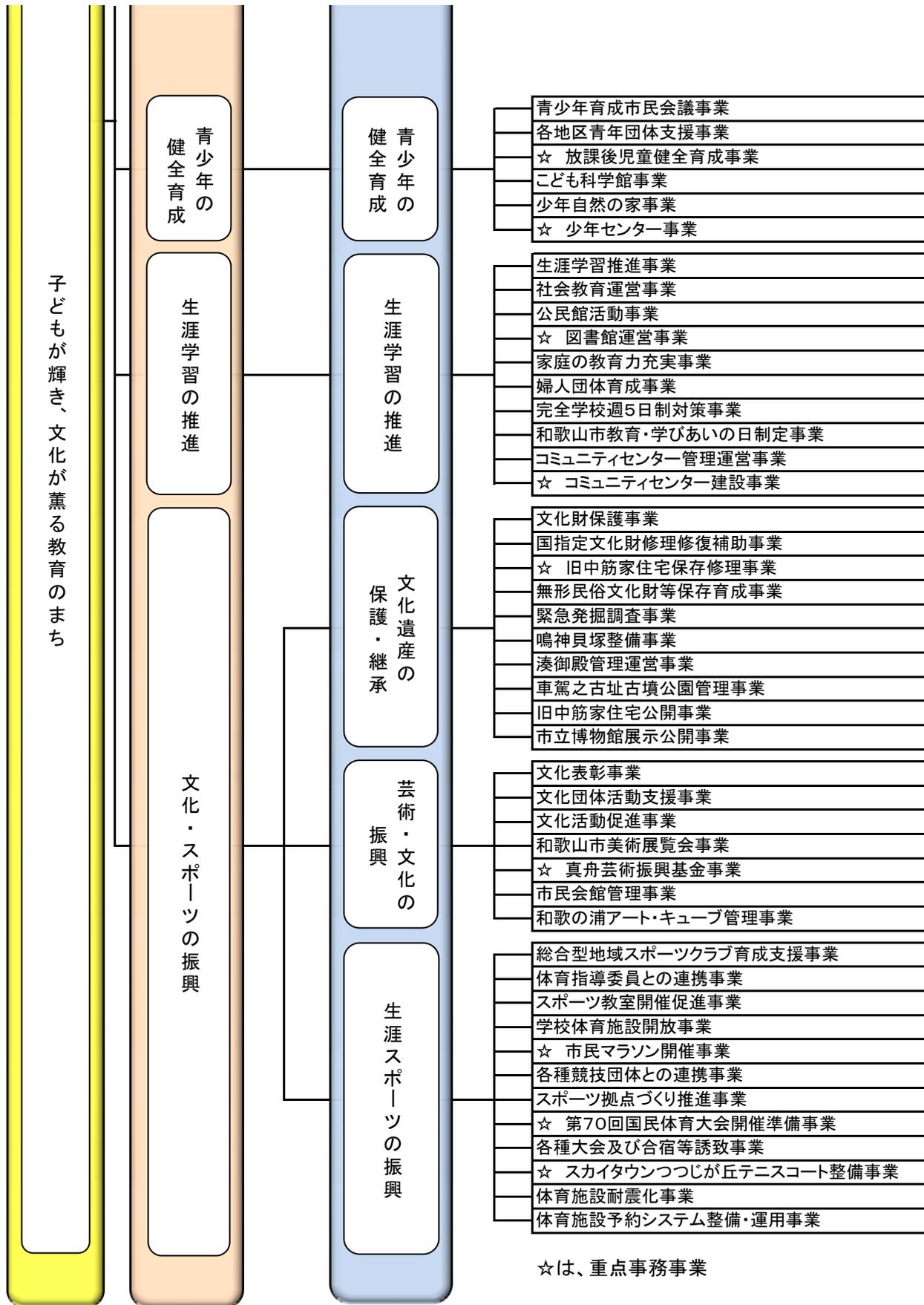
別表 和歌山市教育委員会施策体系のとおり（P2～3）

別記②

和歌山市行政評価は和歌山市ホームページで公開しています。

http://www.city.wakayama.wakayama.jp/menu_1/gyousei/hyouka/index.html





※ この施策体系は、平成20年度策定の第4次和歌山市長期総合計画に基づき作成しています。

Ⅱ 平成22年度教育委員会の活動状況

1 平成22年度教育行政方針

子どもが輝き、文化が薫る教育のまち —21世紀を創造する人づくりを目指して—

和歌山市で育ち、学ぶことを通して、自然と歴史、文化を愛するとともに、豊かな人間性と創造性を備えた人材の育成を目指す。また、全ての人が生きがいを持ち、相互に連携協力しながら学びあうことのできる活気あふれる教育環境を創出する。

基本目標

- 1 社会の変化に対応し、たくましく生きる力をはぐくむ学校教育の創造
- 2 人格形成の基礎となる家庭教育、地域文化の基盤となる社会教育の創造
- 3 生涯にわたり自己実現を図る生涯学習の振興
- 4 心身の健康保持増進とスポーツの振興
- 5 文化の振興と文化財の保護・活用
- 6 平和で人権を尊重する社会を築くための教育の充実
- 7 多様なニーズに対応する教育施設の充実

2 教育委員

(平成22年12月28日現在)

役職名	氏名	就任年月日	任期
委員長	なかむら ひろし 中村 裕	平成16年 7月 4日	平成20年10月 1日～平成24年 9月30日
委員長職務代行者	むろ みどり 室 みどり	平成11年 3月29日	平成19年 3月29日～平成23年 3月28日
委員	なかさこ ひろし 中迫 廣	平成17年10月22日	平成21年10月22日～平成25年10月21日
委員	かなた みちこ 金田 典子	平成22年12月28日	平成22年12月28日～平成26年12月27日
委員（教育長）	おおえ よしゆき 大江 嘉幸	平成19年 8月 1日	平成20年10月 1日～平成24年 9月30日

3 教育委員会会議の開催状況

月日	議案	報告	案件	月日	議案	報告	案件
4月 8日	4	2	0	11月 4日	6	1	0
5月 6日	4	3	0	11月17日	1	0	0
6月 8日	4	3	0	12月24日	3	4	0
7月15日	6	1	0	1月 6日	3	1	1
8月 5日	0	1	0	2月10日	5	2	0
8月26日	1	0	0	3月10日	4	1	0
9月 6日	4	0	2	3月17日	7	2	0
10月 7日	2	2	0				
計				15回	54件	23件	3件

4 教育委員会会議議決案件

4月 8日	平成23年度使用小学校教科書に関する採択事務実施計画について
	和歌山市立学校条例の一部改正について
	和歌山市立高等学校規則の一部改正について
	社会教育委員の委嘱について
5月 6日	平成23年度使用和歌山市立和歌山高等学校教科書に関する採択実施計画について
	和歌山市国指定重要文化財旧中筋家住宅管理条例施行規則の制定について
	和歌山市立コミュニティセンター条例施行規則の一部改正について
	和歌山市立学校条例の一部改正について
6月 8日	和歌山市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
	和歌山市立小学校及び中学校通学区域並びに学校指定に関する規則の一部改正について
	平成22年度貴志小学校分離校屋内運動場他建設工事及び西脇小学校屋内運動場改築他工事について
	平成22年度6月補正予算要求見積書(案)について
7月15日	平成23年度和歌山市立和歌山高等学校入学者選抜の概要について
	和歌山市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
	和歌山市民図書館協議会委員の任命について
	和歌山市立博物館協議会委員の任命について
	平成23年度使用小学校教科書の採択について
	平成23年度使用和歌山市立和歌山高等学校教科書の採択について
8月26日	人事案件について
9月 6日	和歌山市立学校に勤務する県費負担教職員の自家用自動車の公務使用取扱い基準について
	平成23年度和歌山市立和歌山高等学校入学者募集定員について
	平成22年度大新小学校校舎改築その他工事について
	平成22年度9月補正予算要求見積書(案)について
10月 7日	平成22年度和歌山市教育功労者表彰について
	和歌山市立和歌山高等学校平成23年度入学者選抜実施要項について
11月 4日	和歌山市さんさんセンター紀の川条例の制定について
	和歌山市コミュニティセンター条例の一部改正について
	和歌山市指定文化財湊御殿条例の一部改正について

11月 4日	和歌山市民会館条例の一部改正について
	平成22年度12月補正予算要求見積書（案）について
	和歌山市立博物館協議会委員の任命について
11月17日	人事案件について
12月24日	和歌山市立小学校及び中学校通学区域並びに学校指定に関する規制の一部を改正する規則の一部改正について
	和歌山市立学校条例の一部改正について
	平成22年度末教職員人事異動に関する方針について
1月 6日	和歌山市立学校適正規模化の方針について
	和歌山市教育委員会と和歌山大学教育学部との連携協力に関する協定書について
	和歌山市児童生徒文化奨励賞の受賞者について
2月10日	和歌山市立高等学校規則の一部改正について
	平成22年度安原小学校屋内運動場改築他工事について
	平成22年度2月補正予算要求見積書（案）について
	平成23年度教育委員会関連の主要事業（案）について
	人事案件について
3月10日	和歌山市教育委員会平成23年度教育行政方針(案)について
	和歌山市教育委員会職員の勤務時間等の特例に関する規則の一部改正について
	平成23年度和歌山市学校教育指針について
	人事案件について
3月17日	和歌山市さんさんセンター紀の川条例の施行期日を定める規則の制定について
	和歌山市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則の制定について
	和歌山市教育委員会文書取扱規程の一部改正について
	和歌山市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
	和歌山市教育委員会事務専決規則の一部改正について
	平成22年度末退職校園長に対する感謝状授与式について
	平成22年度末教職員人事異動について

5 教育委員会会議以外の主な活動状況

実施日	訪問先・参加行事	内 容
6月 2日	広瀬小学校	学校視察（小学校部別学年別研修会）
6月 4日	県市町村教育委員会連絡協議会定期総会	総会及び講演会
7月21日	旧中筋家住宅	保存修繕竣工式
8月 5日	市立博物館	定例会を市立博物館で開催
9月2日～3日	県市町村教育委員会連絡協議会夏季研修会	情報交換会（分科会）及び講演会
10月15日	近畿市町村教育委員研修大会	基調講演及びパネルディスカッション
10月19日	市長との教育懇談会	教育についての意見交換
10月27日	安原小学校	学校視察（小学校教科等別研修会）
11月 1日	市教育・学びあいの日記念事業	ジュニア会議・講演会 他
11月 4日	雑賀小学校・松江小学校	学校視察（学童保育視察）
11月 7日	市教育功労者表彰	式典への参加
11月16日	市文化表彰	式典への参加
12月12日	市子ども暗唱大会	式典への参加
1月30日	公民館フェスティバル	式典への参加
2月 3日	市児童生徒文化奨励賞表彰	式典への参加
2月20日	県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会	式典への参加
3月 9日	中学校卒業式	式典への参加
3月18日	小学校卒業式	式典への参加
3月29日	藤戸台小学校開校記念セレモニー	式典への参加

委員長	市議会への出席のほか関係各種会議への出席 全国市町村教育委員会連合会関係各種会議への出席
-----	-------------------------------------------------



旧中筋家住宅修理工事竣工式



移動教育委員会（市立博物館で開催）



「和歌山市教育・学びあいの日」記念事業



児童生徒文化奨励賞表彰式

6 教育委員会の活動状況の評価

【評価】

定例及び臨時の教育委員会会議の開催に加えて、学校の視察や各協議会への参加など教育現場の状況把握や委員の研修に積極的に取り組むほか、各種行事や式典への出席、首長との懇談など、多岐に渡り活発に活動しています。また、移動教育委員会の開催や、広報誌の発行、教育に関する事務の点検・評価の公表などにより、広報活動に努めています。

【今後の取り組み】

より多くの市民の方々に教育委員会活動を知っていただくため、平成22年度は市立博物館において移動教育委員会を開催しましたが、今後も、開かれた教育行政を目指し、学校やコミュニティセンターなどにおいて教育委員会を開催し、市民の傍聴の機会を増やしていきます。また、学校等の視察や教職員との意見交換などを行い、市民や教育現場の意見を十分に反映させるとともに、委員の研修機会の充実を図っていきます。

Ⅲ 点検及び評価

(和歌山市教育委員会施策体系に基づき平成22年度に実施した事業の点検及び評価を行いました。)

※「評価」の欄は、当該事務事業の目標達成状況を担当課で評価し、A～Dの4段階で表しています。
(A:十分達成できた B:概ね達成できた C:やや不十分である D:不十分である)

分野別 目標	政策	施策	主な事務事業	担当課	点検・評価 (決算額(千円単位)、内容・成果等)	評価
子どもが輝き、 文化が薫る教育の まち	1 学校教育の 充実	① 学校の 教育力の 充実	学校・家庭・地域連携 事業(学校評議員、 学校評価等)	教職員課	0円 小・中・高等学校の外部評価委員研修会を開催して委員の 研修を深め、学校評価制度を実施した。	A
			学校・家庭・地域連携 事業(PTA育成及び 活動事業)	生涯学習課	945千円 園児・児童・生徒の健全育成のためPTA会員の連携を深め、 研修会、スポーツ大会、合唱祭等の連携行事を開催した。	A
			学校・家庭・地域連携 事業(きのくに共有コ ミュニティ推進事業)	生涯学習課	926千円 地域ぐるみで子どもを育て、学校を支援する体制づくりとし て、西脇、西浜の各中学校区にコミュニティ本部を設置し、あ いさつ運動や学習支援、校内整備活動等を展開した。	A
			教育調査研究事業	教育研究所 学校教育課	2,174千円(教育研究所) 1,006千円(学校教育課) 教科・領域や新しい教育課題を研究することにより、学習指 導の充実並びに教員の資質向上を図った。	B
			教員研修事業	教育研究所	2,414千円 教員の資質・スキルアップ向上を目指し、各教科・領域に係る 基本研修・専門研修を開催した。	B
			情報教育研修事業	教育研究所	2,046千円 情報教育の推進を図るため、各種情報教育研修等を開催し た。	B
			情報教育ネットワーク 設備整備事業	教育研究所	35,278千円 教育情報ネットワーク「きいねっと」の拠点として、小・中学校 73校がインターネット接続できる情報通信ネットワーク機器 を整備し、管理・運用を図った。	B
		② 幼児教育の 充実	幼児教育推進事業	学校教育課	1,557千円 幼稚園教育研究会を設置し、年間4回の協議会を開催した。 3歳、4歳、5歳の各部会で年間2回の研究保育を実施した。 研究のまとめを作成した。	B
			幼小連携推進事業	学校教育課	0円 幼稚園児と小学校児童の交流会や教育課程の編成の連携、 教師同士の交流等の推進を図った。	B
			幼児教育力総合化推 進事業	学校教育課	0円 保護者の保育参加や子育て井戸端会議、父親の保育参加 等の推進に努めた。	B
			公立幼稚園展開催事 業	学校教育課	132千円 今年度は各幼稚園において会場を設定し、幼稚園展を開催 した。 会期は、平成23年10月19日～11月25日の間	B
			未就園児のつどい開 催事業	学校教育課	0円 市立幼稚園13園において、未就園児とその保護者の学びや 育ちを支える子育て支援の場を提供した。	B

分野別 目標	政策	施策	主な事務事業	担当課	点検・評価 (決算額(千円単位)、内容・成果等)	評価
子どもが輝き、 文化が薫る教育の まち	1 学校教育の 充実	② 幼児教育の 充実	幼稚園における子育て支援事業	学校教育課	0円 未就園児のつどいの開催時に子育て相談を実施し、子育て支援の充実に貢献した。	B
			預かり保育事業	教職員課	12,303千円 市立幼稚園13園で実施。10園は1時間、1園は1時間半、2園は3時間、預かり保育を実施した。	B
			就園奨励費交付事業・就園奨励費特別交付事業	学校教育課	256,957千円 就園奨励費交付金を交付することにより、幼稚園教育が円滑に行われ、子育て支援の充実に貢献した。	A
			3歳児保育事業	教職員課	8,027千円 市立幼稚園12園で実施。保育補助として4人を配置した。	A
		③ 小・中学校教育の 充実	緑育推進事業	学校教育課	5,916千円 「自然」「人」とふれあい、体験活動を通して豊かな人間性を育てることに貢献した。	B
			食育推進事業	保健給食管理課 学校教育課	42千円(保健給食管理課) 文部科学省「子どもの健康を育む食育推進事業」を受託し、学校・家庭・地域が連携して取り組む食育の在り方の研究を進めた。	A
			職場体験事業	学校教育課	1,124千円 市内全中学校2年生が地域の事業所において職場体験を実施し、健全な職業観を身に付けた。	A
			児童生徒文化奨励賞表彰事業	学校教育課	58千円 児童生徒の文化活動への取組に対して、その努力と栄誉を讃え、奨励することにより、情操教育を推進することができた。	A
			小中学校科学作品等各種作品展開催事業	学校教育課	871千円 作品等の公開を通じて、市民及び保護者の教育への関心を高めると共に、児童生徒の豊かな人間性や創造性を育む教育の推進に貢献した。	A
			スクールカウンセラー派遣推進事業	学校教育課	2,864千円 不登校になる可能性のある児童や保健室登校の児童の対応をすることにより、心身ともに健康な児童の育成に貢献した。	B
			教育相談活動事業	子ども支援センター	18,405千円 子ども、保護者、教職員の相談に応じることによって教育の諸問題の解決と学校教育の活性化をめざし、支援を行った。	B
			帰国子女等受け入れ対策事業	子ども支援センター	119千円 帰国子女や外国籍で日本語がうまく話せない児童・生徒の日本語指導をサポートすることにより、日常生活及び学校生活での学習充実等が図れた。	B
			問題を抱える子ども等の自立支援事業	学校教育課	0千円(学校教育課) 595千円(子ども支援センター) 不登校生のためのふれあい教室を設置し、保護者・学校と連携を図りながら、子どもへの支援を行った。	B
			学力向上支援事業	学校教育課	11,779千円 巡回指導員による学習支援を実施することにより、基礎学力が充分身につけていないと思われる地域の児童生徒の学力向上に寄与した。	B

分野別 目標	政策	施策	主な事務事業	担当課	点検・評価 (決算額(千円単位)、内容・成果等)	評価
子どもが輝き、文化が薫る教育のまち	1 学校教育の充実	③ 小・中学校教育の充実	小学校低学年サポートプラン推進事業	教職員課	28,922千円 小学校低学年で1クラスが38人に近い学級がある学校に補助教員を配置し、児童一人一人の状況に応じた個別指導体制を充実した。	A
			英語教育推進事業	学校教育課	21,545千円 外国人講師とのチームティーチングを実施することにより、英語に慣れ親しみ、国際理解を深めた。	B
			中学校国際交流助成事業	学校教育課	1,471千円 中学生38名がカナダを訪問し、姉妹都市交流を図った。	B
			情報教育推進事業	教育研究所 教育総務課	小学校:164,979千円 中学校: 17,849千円(教育研究所) 小学校:112,925千円 中学校: 44,559千円(教育総務課) 平成21年度に引き続き、教育用コンピュータ、電子黒板及びプロジェクタ・スクリーン等を導入することにより、情報教育の推進に貢献した。また、総務省地域雇用創造ICT絆プロジェクト(教育情報化事業)和歌山みらい学校事業を実施。	B
			就学援助費交付事業	学校教育課	106,861千円 経済的理由により就学困難な児童生徒に対して、就学援助費を支給することにより、心身ともに健康な児童生徒の育成に貢献した。	B
			遠距離通学児童生徒に対する通学費交付事業	学校教育課	31千円 遠距離通学生徒に対し、旅客運賃相当額を交付することにより、円滑な学習の確保に資することができた。	A
			安全・安心メール配信事業	学校教育課	600千円 不審者等の情報を配信することにより、園児・児童・生徒の安全確保に貢献した。	B
			学校図書充実事業	教育総務課 学校教育課	小学校: 17,339千円 中学校: 8,379千円 標準冊数に対する蔵書充足率は小学校で111.0%、中学校で114.7%を達成することが出来た。	A
			小・中学校大規模改造事業(耐震)	教育施設課	小学校: 572,629千円 中学校: 105,247千円 小学校1校、中学校2校の耐震設計、小学校8校、中学校1校の耐震補強工事を行った。	A
			貴志小学校分離校整備事業	教育施設課	1,244,314千円 貴志小学校分離校として藤戸台小学校の校舎・屋内運動場を建設。完成した。	A
小・中学校改築事業	教育施設課	小学校: 447,739千円 中学校: 113,589千円 小学校…太陽光・受変電設備設置、公共下水切替各工事、西脇小…躯体改築工事、大新小…校舎改築工事等を行った。中学校…太陽光・受変電設備設置工事 西和中…外構工事等を行った。	A			
学校適正規模適正配置調査事業	教育総務課	0千円 平成22年2月にいただいた答申を受け、12小中学校で説明会を開催した。教育委員会として和歌山市立学校適正規模化の方針を決定した。小中一貫伏虎中学校区学校適正規模化推進協議会を設置した。	A			

分野別 目標	政策	施策	主な事務事業	担当課	点検・評価 (決算額(千円単位)、内容・成果等)	評価
子どもが輝き、文化が薫る教育のまち	1 学校教育の充実	④ 特別支援教育の充実	特別支援教育生徒指導事業	学校教育課	912千円 障害のある子どもに対して、効果的な指導、支援、助言を行うことにより、それぞれのニーズに合わせた適切な教育ができた。	B
			介助員派遣事業	学校教育課	15,008千円 肢体に障害のある児童生徒に対して、主として排泄、移動、身辺処理の介助や休み時間の安全確認等を行うことにより、円滑な学校生活を保障した。	B
			特別支援教育支援員派遣事業	学校教育課	13,946千円 発達障害のある児童生徒に対する日常生活動作の介助、学習活動上のサポートを行う特別支援教育支援員を7人配置することにより、効果的な支援を行うことができた。しかし、支援の必要な子どもは各学校に多数在籍し、一層の増員が必要である。	C
			特別支援教育就学奨励費交付事業	学校教育課	4,597千円 特別支援学級在籍児童生徒の就学に係る保護者の経済的負担を軽減することにより、特別支援教育の振興を図れた。	B
			特別支援学校就学奨励費交付事業	学校教育課	813千円 特別支援学校在籍児童生徒の就学に係る保護者の経済的負担を軽減することにより、特別支援教育の振興を図れた。	B
		⑤ 健康教育の充実	各種検診等学校保健事業	保健給食管理課	29,355千円 健康診断を実施し、児童生徒の健康状態を把握。保健管理や健康教育等を通して課題解決に役立てた。	A
			学校環境衛生維持管理事業	保健給食管理課	52,511千円 子どもたちの健康を保持増進し、学習能力の向上を図るため、プールの水質検査、貯水槽清掃及び浄化槽保守点検等、安全かつ快適な学習環境を作り上げることに努めた。	A
			学校給食管理運営事業	保健給食管理課	282,656千円 市立小学校44校において年間190日の給食を実施。市内産米を使用して週3回の米飯給食、行事食や郷土食を取り入れ、食文化の伝承に努めた。また、円滑な給食実施のために、設備等の管理充実に努めた。高松・雑賀・小倉小学校においては、給食調理等業務委託を実施した。	A
			共同調理場管理運営事業	保健給食管理課	235,700千円 市立小学校8校において年間190日の給食を実施。円滑な給食実施のために、設備等の管理充実に努めた。	A
			食育推進事業(再掲)	保健給食管理課 学校教育課	42千円(保健給食管理課) 文部科学省「子どもの健康を育む食育推進事業」を受託し、学校・家庭・地域が連携して取り組む食育の在り方の研究を進めた。	A
			学校体育事業	スポーツ振興課	7,059千円 夏・秋の中学校総合体育大会の開催を補助することで、青少年の健全育成と体力向上に寄与することができた。	B
			児童安全教育推進事業	学校教育課	2,565千円 CAPプログラムによる講習会により、子ども本人が危険から回避できるような知識や方法を学ぶことができた。	B
			安全・安心メール配信事業(再掲)	学校教育課	600千円 不審者等の情報を配信することにより、園児・児童・生徒の安全確保に貢献した。	B

分野別 目標	政策	施策	主な事務事業	担当課	点検・評価 (決算額(千円単位)、内容・成果等)	評価
子どもが輝き、 文化が薫る教育のまち	1 学校教育の充実	⑥ 高校教育・ 高等教育の 充実	学科改編事業(普通 科の設置)	市高	2,332千円 外部講師による教科指導及び大学進学に向けての特別講座 を行い、教育の充実を図った。	A
			学校運営事業	市高	622,334千円 学校関係職員の人権費の支出及び学校施設の維持管理及 び物品購入を行い学校運営を行なった。	B
			外国人講師・国際交 流事業	市高	4,500千円 外国人講師を招致し、生徒の英会話能力の向上を図ること ができた。	A
			施設充実事業	市高	632千円 教材・教具の設備行った。	B
	2 青少年の健全育 成	① 青少年の健 全育成	青少年育成市民会議 事業	青少年課	2,959千円 各関係団体との連携がとれ、青少年健全育成に貢献した。	B
			各地区青年団体支援 事業	青少年課	1,282千円 青少年の健全育成並びに青年団活動の支援に努め、青少 年の育成の環境づくりに貢献した。	B
			放課後児童健全育成 事業	青少年課	186,299千円 保護者の監護に欠ける児童の健全育成を図った。	B
			こども科学館事業	こども科学 館	72,368千円 プラネタリウムの投影、野外・天体観察会、各種工作教室な ど普及事業を実施することによって青少年の健全育成のた めの環境整備をすることに貢献できた。	A
			少年自然の家事業	少年自然の 家	72,265千円 施設の維持管理、設備の整備、運営等の事業を実施し、利 用者が安心・安全に活動できる状態を維持した。 また、利用団体に様々な活動指導や生活指導等の支援を行 うとともに、16の主催事業を実施した。	A
			少年センター事業	少年セン ター	7,736千円 少年補導委員会の運営と、委員相互の連絡調整をはかると ともに、環境浄化(アダルトDVD自動販売機の撤廃)、少年 非行防止及び啓発活動等を行った。	A
	3 生涯学習の推 進	① 生涯学習の 推進	生涯学習推進事業	生涯学習課	1,243千円 生涯学習の総合的かつ効果的な推進を図るために、生涯学 習推進協議会を2回、生涯学習推進員研修会を1回、生涯学 習セミナーを1回開催した。	A
			社会教育運営事業	生涯学習課	341千円 社会教育行政の協議の場として、社会教育委員定例会議を 年3回開催し、各種研修会への参加など、社会教育・生涯学 習の振興につながった。	A
			公民館活動事業	中央公民館	21,902千円 中央公民館では、全市学習圏の生涯学習拠点として、同館 の管理運営事業と各種学習事業等を実施した。また、校区学 習圏の中心的拠点としての、市内42地区公民館では、地域 色豊かな活動が展開された。	A

分野別 目標	政策	施策	主な事務事業	担当課	点検・評価 (決算額(千円単位)、内容・成果等)	評価
子どもが輝き、文化が薫る教育のまち	3 生涯学習の推進	① 生涯学習の推進	図書館運営事業	市民図書館	228, 228千円 社会の様々な変化に伴って多様化・高度化する市民の図書館ニーズを踏まえ、資料を計画的に収集・保存・整理し、市民の読書活動の推進及び生涯学習を支援することができた。	B
			家庭の教育力充実事業	生涯学習課	5, 930千円 乳幼児とその保護者を対象として、子育てを支援するため、「子育てひろば」を市内6会場で開催した。(計101回)	A
			婦人団体育成事業	生涯学習課	2, 405千円 和歌山市婦人団体連絡協議会に事業を委託し、社会の変動に対応することのできる婦人団体を育成し、明るく住みよい和歌山市の形成に資することができた。	A
			完全学校週5日制対策事業	生涯学習課 学校教育課	11, 766千円 52の小学校区子どもセンターで、休業土曜日等に学校開放事業と自然体験や社会体験等のセンター事業を実施するとともに、24の子どもセンターでは土曜教室を開催し、学力向上の機会を提供した。	A
			和歌山市教育・学びあいの日制定事業	教育総務課 学校教育課 生涯学習課	平成22年度の『和歌山市教育・学びあいの日』記念事業は、中学生ジュニア会議・少年メッセージ・歴史講座を行い、教育に対する市民の意識向上を図った。 生涯学習課:0円 学校教育課:0円	A
			コミュニティセンター管理運営事業	生涯学習課	206, 475千円 市民の生涯学習及び地域活動の振興を図るため、コミュニティセンター5カ所の運営事業を実施した。センター自主事業は、76講座を開催した。また、和歌山市公共施設案内・予約システムにより施設利用の利便性向上を図った。	A
			コミュニティセンター建設事業	生涯学習課	577, 244千円 市民の生涯学習及び地域活動の振興を図るため、直川用地公共施設区画にコミュニティセンター機能を有する複合施設を建設した。(平成19年度～23年度)	A
	4 文化・スポーツの振興	① 文化遺産の保護・継承	文化財保護事業	文化振興課	4, 411千円 文化財保護委員会の開催(年1回)をはじめとして、文化財に関する説明板の設置、文化財(大谷古墳等)の適正な維持管理など文化財の保護活用を図った。	A
			国指定文化財修理修復補助事業	文化振興課	84千円 和歌山市内に存在する国指定文化財1件に対して補助金の交付を行った。 交付先 : 養翠園	A
			無形民俗文化財等保存育成事業	文化振興課	60千円 無形文化財保護育成のために3団体に補助金を交付した。 交付先 : 岡崎団七踊保存会、岩倉流泳法保存会、木ノ本の獅子舞保存会	A
			緊急発掘調査事業	文化振興課	7, 507千円 文化財保護法に基づき、埋蔵文化財包蔵地内における開発に対して63件の立会確認と28件の確認調査と9件の本発掘調査により、遺跡の実態確認を行った。	A
			鳴神貝塚整備事業	文化振興課	56, 957千円 国指定史跡鳴神貝塚の範囲内にあった建物を移転補償して取り壊し、史跡範囲内の土地2筆を直接買い上げた。	A
			湊御殿管理運営事業	文化振興課	20, 112千円 市指定文化財湊御殿を一般公開するため管理運営をおこなった結果、1, 143人の観覧者があった。	A

分野別 目標	政策	施策	主な事務事業	担当課	点検・評価 (決算額(千円単位)、内容・成果等)	評価
子どもが輝き、文化が薫る教育のまち	4 文化・スポーツの振興	① 文化遺産の保護・継承	車駕之古址古墳公園管理事業	文化振興課	3,680千円 県指定文化財である車駕之古址古墳公園の維持管理のため、植栽や清掃など公園の管理を行った。	A
			旧中筋家住宅公開事業	文化振興課	10,058千円 国指定重要文化財旧中筋家住宅を一般公開するため管理運営をおこなった結果、4,724人の観覧者があった。	A
			市立博物館展示公開事業	博物館	11,855千円 2回の特別展「よみがえる和歌山の縄文世界」、「紀州徳川家のお姫さま」の開催、葵紋付左義長羽子板1握等博物館資料の購入により、個性ある地域文化の推進に寄与した。	A
		② 芸術・文化の振興	文化表彰事業	文化振興課	2,040千円 和歌山市の文化の向上発展に顕著な功績のある個人4名と1団体を表彰した。 文化賞1名、文化功労賞2名、文化奨励賞1名1団体	A
			文化団体活動支援事業	文化振興課	766千円 和歌山市の文化の振興と向上のため9団体の運営活動を支援した。	A
			文化活動促進事業	文化振興課	5,393千円 和歌山市の文化の振興と向上のため8つの事業を開催した。 主催事業 5 支援事業 3	A
			和歌山市美術展覧会事業	文化振興課	3,735千円 洋画、日本画、書道、写真、彫塑、工芸、いけ花の7部門の作品563点を部門別に審査し、市長賞をはじめとした6つの各賞を授与した。市民会館にて4会期に分けて展示した。	A
			真舟芸術振興基金事業	文化振興課	8,401千円 真舟芸術振興基金を活用し、指導者・後継者事業、研究発表事業、芸術家派遣・招聘事業、芸術振興事業を実施した。延べ1,800人程度が参加した。	A
			市民会館管理事業	文化振興課	181,683千円 和歌山市の文化活動の拠点である市民会館の(財)和歌山市都市整備公社を指定管理者とする管理運営。施設利用者は約25万人。自主事業68を開催し、延べ1万8千人程度が参加した。	A
			和歌の浦アート・キューブ管理事業	文化振興課	48,406千円 和歌山市民の芸術活動の創造発信の拠点であるアート・キューブの管理運営。施設利用者は約4万8千人。開催した13の自主事業には、延べ2,400人程度が参加した。	A
			③ 生涯スポーツの振興	総合型地域スポーツクラブ育成支援事業	スポーツ振興課	0円 総合型地域スポーツクラブ数 10団体 (平成22年度末現在)
		体育指導委員との連携事業		スポーツ振興課	1,569千円 新春つれもて歩こう走ろう会やふれあいスポーツ教室を開催することにより、生涯スポーツの振興やニュースポーツの普及に寄与した。	B
		スポーツ教室開催促進事業		スポーツ振興課	297千円 市民987名が参加して生涯スポーツの振興とスポーツ人口の増加に寄与した。	B
		学校体育施設開放事業		スポーツ振興課	12,404千円 地域住民にスポーツの場を提供し、市民のスポーツ振興を図る。多くの地域住民が、スポーツを楽しむことができ、地域の体育振興に役立った。	B

分野別 目標	政策	施策	主な事務事業	担当課	点検・評価 (決算額(千円単位)、内容・成果等)	評価
子どもが輝き、 文化が薫る教育のまち	4 文化・ スポーツの振興	③ 生涯ス ポーツの振興	市民マラソン開催事業	スポーツ振興課	15,920千円 10月26日に開催された'10和歌浦ベイマラソンwithジャズは、13,718名のエントリーがあり、和歌山市のPR及び地域経済の活性化にも寄与できた。	A
			各種競技団体との連携事業	スポーツ振興課	5,153千円 各種競技団体と連携して、生涯スポーツ交流大会やジュニアサッカー教室、障害者卓球大会を開催することにより、青少年の健全育成やスポーツの振興に寄与した。	A
			スポーツ拠点づくり推進事業	スポーツ振興課	5,000千円 競技団体と連携して、ジュニア・ユースセーリングチャンピオンシップ全国大会を開催することにより、青少年の健全育成やスポーツの振興に寄与した。	B
			第70回国民体育大会開催準備事業	スポーツ振興課	平成22年度から企画課において準備。	—
			各種大会及び合宿等誘致事業	スポーツ振興課	5,530千円 県内外の小・中・高校生の合宿・大会等を誘致・開催することで和歌山市の選手が積極的に参加・交流する機会を得ることができ、青少年の健全育成や選手の技術力向上に寄与した。	B
			スカイタウンつつじが丘テニスコート整備事業	スポーツ振興課	2,855,743千円 スカイタウンつつじが丘内にテニスコートを整備するため、建設予定地を購入した。	B
			体育施設耐震化事業	スポーツ振興課	7,560千円 市民体育館の耐震工事を実施した。	A
			体育施設予約システム整備・運用事業	スポーツ振興課	734千円 施設の総予約件数のうち約35%が予約システムによるものであり、利用者の増加や利便性の向上に寄与した。	A

5 教育委員会評価

＜教育委員会の権限に属する事務事業のうち4事業＞

事務事業					所管課	
完全学校週5日制対策事業					生涯学習課	
長期総合計画における位置づけ	政策	生涯学習の推進	施策	生涯学習の推進	取組	生涯学習・社会教育の支援・充実
教育委員会評価	児童の実態や地域の特色を一考しつつ、現状維持されたい。					
教育委員会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には現状維持。様々な情報を活かし、可能なものは改善努力する方向で進められたい。 ・子どもや保護者等に対しアンケートを実施するなど意見を集約する。また、各子どもセンターでの取組に対し、計画書や報告書を活用し、安全面等の指導にあたることも必要。 					

事務事業					所管課	
教員研修事業					教育研究所	
長期総合計画における位置づけ	政策	学校教育の充実	施策	学校の教育力の充実	取組	教員の資質向上
教育委員会評価	事業を推進する。 財源をより充実し、人員、施設の充実を期待したい。					
教育委員会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育課題が教科研修以外の分野に拡大されつつある傾向から、対児童生徒の学習の外に、不登校・心の病・家庭教育（環境）・虐待等が対象の研修を如何に充実させていくか。 ・教育研修所の所員人数の充実。教員研修充実に繋がるので、人的補充、施設の充実、研修所の新設を提言したい。 ・財源を拡充すべき。 ・研修成果の評価について、数値化できるものが必要。 					

事務事業					所管課	
旧中筋家住宅公開事業					文化振興課	
長期総合計画における位置づけ	政策	文化・スポーツの振興	施策	文化遺産の保護・継承	取組	文化遺産の公開と活用
教育委員会評価	事業を推進する。					
教育委員会意見	・国指定の貴重な文化財で和歌山市の歴史研究・郷土学習の上からも欠かせないものである。運営方法も他の自治体も大変苦労されている様子が窺われる。運営方法について検討されたい。					

事務事業					所管課	
市民マラソン（和歌浦ベイマラソンwithジャズ）開催事業					スポーツ振興課	
長期総合計画における位置づけ	政策	文化・スポーツの振興	施策	生涯スポーツの振興	取組	スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進
教育委員会評価	観光・集客面からも、事業を充実・推進する。まちづくりと連動しながら、インフラ整備を願う。					
教育委員会意見	・和歌山市の風光明媚なシーサイドをジャズを聴きながら健康増進も兼ねた、他都市では経験出来ない大変特色ある行事として定着しつつある。回を重ねる度に参加者も増加する等良い状況にあるが、交通渋滞など運営が困難になっている。願わくば、参加者の駐車場の確保、道路の整備などを是非充実されたい。					



6 行政評価（参考）

＜和歌山市行政評価委員会意見書から抜粋＞

外部評価の欄の見方：

A	重点的（優先的）に取り組む必要あり
B	計画どおり事業を進めることが妥当
C	見直しのうえで継続
D	終了
E	休止
F	廃止

事務事業	所管課	外部評価
家庭の教育力充実事業 (子育てひろば)	生涯学習課	A
行政評価委員会の 意見 【見直し・改善提案】	<ul style="list-style-type: none"> ・重点的に取り組むべき事業ではあるが、当該事業への参加者に対するアンケート調査を実施し、事業の効果測定を行う必要がある。 ・事務担当職員を正規職員から非常勤職員に変更したことにより、軽費削減を図れたことは評価できるが、質の低下につながらないように今後も務めてもらいたい。 	

事務事業	所管課	外部評価
コミュニティセンター管理運営事業（東部） (生涯学習講座、図書室など)	生涯学習課	C
行政評価委員会の 意見 【見直し・改善提案】	<ul style="list-style-type: none"> ・募集定員を満たしている講座が少なく、市民ニーズを反映して講座が考えられているのか疑問なので、事業内容を指定管理者に任せっきりせず、運用面や講座の開催を見直すべき。 ・図書室の利用者が少ないので、今後の運営方法を検討すべき。 ・市民図書館と移動図書館が36か所で動いているので、その2つにないコミュニティセンターの図書室ならではのメリットを考える必要がある。 	

事務事業	所管課	外部評価
コミュニティセンター管理運営事業（河南） (生涯学習講座、図書室など)	生涯学習課	C
行政評価委員会の 意見 【見直し・改善提案】	<ul style="list-style-type: none"> ・募集定員を満たしている講座が少なく、市民ニーズを反映して講座が考えられているのか疑問なので、事業内容を指定管理者に任せっきりせず、運用面や講座の開催を見直すべき。 ・図書室の利用者が少ないので、今後の運営方法を検討すべき。 ・市民図書館と移動図書館が36か所で動いているので、その2つにないコミュニティセンターの図書室ならではのメリットを考える必要がある。 	

事務事業		所管課	外部評価
コミュニティセンター管理運営事業（河北） （生涯学習講座、図書室など）		生涯学習課	C
行政評価委員会の意見 【見直し・改善提案】	<ul style="list-style-type: none"> ・募集定員を満たしている講座が少なく、市民ニーズを反映して講座が考えられているのか疑問なので、事業内容を指定管理者に任せっきりせず、運用面や講座の開催を見直すべき。 ・市民図書館と移動図書館が36か所で動いているので、その2つにないコミュニティセンターの図書室ならではのメリットを考える必要がある。 		

事務事業		所管課	外部評価
コミュニティセンター管理運営事業（河西） （生涯学習講座など）		生涯学習課	C
行政評価委員会の意見 【見直し・改善提案】	<ul style="list-style-type: none"> ・募集定員を満たしている講座が少なく、市民ニーズを反映して講座が考えられているのか疑問なので、事業内容を指定管理者に任せっきりせず、運用面や講座の開催を見直すべき。 		

事務事業		所管課	外部評価
コミュニティセンター管理運営事業（中央） （生涯学習講座、図書室など）		生涯学習課	C
行政評価委員会の意見 【見直し・改善提案】	<ul style="list-style-type: none"> ・募集定員を満たしている講座が少なく、市民ニーズを反映して講座が考えられているのか疑問なので、事業内容を指定管理者に任せっきりせず、運用面や講座の開催を見直すべき。 ・市民図書館と移動図書館が36か所で動いているので、その2つにないコミュニティセンターの図書室ならではのメリットを考える必要がある。 		

事務事業		所管課	外部評価
公民館管理事業		生涯学習課	C
行政評価委員会の意見 【見直し・改善提案】	<ul style="list-style-type: none"> ・表彰者数を目標に掲げてどのように努力するのか見えてこないため、適切な成果指標を提示すべき。 ・公民館運営審議会、公民館振興大会、職員研修会の実施にあたり、更に事業成果を高める工夫について、検討する必要があるのではないか。 		

事務事業		所管課	外部評価
公民館運営委託事業		生涯学習課	C
行政評価委員会の意見 【見直し・改善提案】	<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度ブロック化は進んでいるようであるが、活動の実質的な集約化もしていくべき。 ・コミュニティセンターと一部事業内容が重複しているように見受けられるので、コミュニティセンターとより緊密な調整が必要である。 		

事務事業	所管課	外部評価
完全学校週5日制対策事業	生涯学習課	C
行政評価委員会の意見 【見直し・改善提案】	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容を企画する側（PTA）の御苦勞を考慮し、事務局から事業に協力してくれそうな団体や企業をリストアップして運営協議会に情報提供していくべき。 ・地域によって参加率が偏っている原因分析をアンケートや追跡調査を通してしっかりと行うべき。 ・各校区の事業展開を市側でしっかり把握し、各校区の事業内容によって補助金額に強弱を付けることを検討すべき。 ・保険の問題はあるが校区を越えた相互参加も検討すべき。 	

事務事業	所管課	外部評価
教育文化センター管理事業	生涯学習課	B
行政評価委員会の意見 【見直し・改善提案】	<ul style="list-style-type: none"> ・本当に教育文化センターが必要かゼロベースで発想した時に当該建物が必要か否かで地震対策などを考えていくべき。 ・廃止又は休止した場合の影響に関して代替する場所あるいは統合も含めてもう一度精査する必要があると感じる。 ・本建物は築40年となっており、鉄筋コンクリート造・事務所用の建築物の耐用年数は50年となっているので、耐震診断や補強等に費用をかけるべきではなく、立て替えるか、他に耐震補強を行った建物に移動する事も検討すべき。 	

事務事業	所管課	外部評価
図書館施設管理事業	市民図書館	A
行政評価委員会の意見 【見直し・改善提案】	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館サービスをより効率的に運用するためのシステムは重要であり、安全性の確保のための諸技術に維持管理は重要であるため、引き続き重点的に取り組む必要がある。 	

事務事業	所管課	外部評価
図書館サービス運営事業	市民図書館	C
行政評価委員会の意見 【見直し・改善提案】	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度の研究等を行い、更なるコスト削減の方策について検討すべき。 ・更なる市民サービスの向上に向けた取組を検討すべき。 	

IV その他

1 教育委員会の組織 (平成22年4月1日現在)



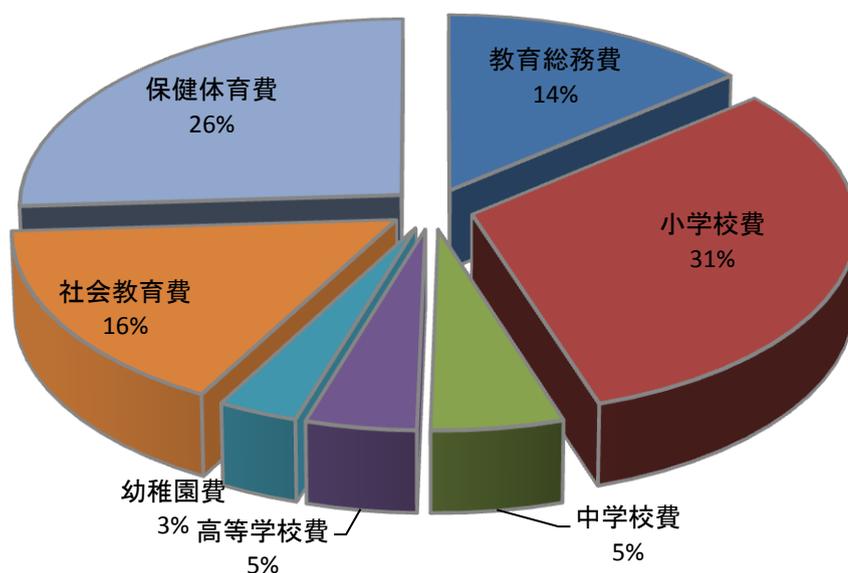
指定管理者制度導入の教育機関施設

- | | |
|--------------|--------------|
| 市民会館 | 東部コミュニティセンター |
| 和歌の浦アート・キューブ | 河南コミュニティセンター |
| 松下体育館 | 河西コミュニティセンター |
| 市民体育館 | 河北コミュニティセンター |
| 市民テニスコート | 中央コミュニティセンター |
| 河南総合体育館 | |
| 市民温水プール | |
| 市民スポーツ広場 | |

2 教育費決算額

① 平成22年度教育費決算額内訳

項	金額(千円)	対前年度比増減 (千円)	対前年度 伸び率(%)
教育総務費	1,985,148	-44,377	-2.2
小学校費	4,436,964	1,042,597	30.7
中学校費	753,730	-396,668	-34.5
高等学校費	630,736	-37,617	-5.6
幼稚園費	454,634	-10,022	-2.2
社会教育費	2,300,740	340,230	17.4
保健体育費	3,701,480	2,832,968	326.2
計	14,263,432	3,727,111	35.4



② 教育費決算額の推移

	単位(千円)				
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
教育総務費	2,362,112	2,537,913	2,087,723	2,029,525	1,985,148
小学校費	3,357,966	3,570,413	3,010,792	3,394,367	4,436,964
中学校費	1,509,042	1,205,110	1,295,519	1,150,398	753,730
高等学校費	751,302	735,348	954,419	668,353	630,736
幼稚園費	495,568	460,419	430,644	464,656	454,634
社会教育費	1,969,670	1,875,437	2,055,108	1,960,510	2,300,740
保健体育費	918,823	900,264	2,951,493	868,512	3,701,480
計	11,364,483	11,284,904	12,785,698	10,536,321	14,263,432